

Title	大阪大学低温センターだより No.41 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 41
Issue Date	1983-01
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/22195
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

編集後記

1983年第1号をおとどけます。各分野の新しい発展やトピックス、実験技術の紹介等で今年も充実したセンターだよりを続けたいと思います。その基礎には創刊以来阪大オリジナル尊重の精神があって、本誌刊行の原動力となっています。本41号にも、オリジナルな観点、自分の経験にもとづく工夫、成程と思わせるアイデアが随所に盛り込まれています。今後とも創意に満ちた阪大オリジナルの原稿を寄せ、この編集方針を盛り立てて頂きたいと思います。阪大外の読者の方々にもこの方針はよろこんで頂けるものと考えます。

ところで低温実験室ではときたまガラスデュワーが割れます。そのときエントロピーは増大するでしょうか。無秩序に散乱したガラス片を思いうかべて、エントロピーは増大すると考える方もあるでしょうが、事実上エントロピーは増えません。しかし事故のあと新しいデュワーを作る段階で重要なエントロピー変化が起ります。すなわち、原材料からデュワーにいたる工程で生成するエントロピーです。最近出た「エントロピーの法則」なる縦書きの書物は、この種のエントロピー増大を出来るだけ小さくおさえることで公害、エネルギー問題、資源問題等々の解決をはかるべきだと説いています。その当否は別にして一般向書物の表題に現れたエントロピーがエネルギーと同様の親しい存在になれるかどうか、日頃エントロピー測定にたずさわるとして興味深く注目しています。

(松尾隆祐)

大阪大学低温センターだより 第41号

昭和58年1月発行

編集責任者 長谷田 泰一郎
発行者 大阪大学低温センター
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号
電話(06) 877-5111 内線 4105
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号
電話(06) 844-1151 内線 2162

印刷所 阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川3丁目6番4号
電話(06) 443-0936 (代表)

研究ノート

Dislocation core の話	工 学 部	山 口 正 治	1
バクテリアベス毛モーター	基礎工学部	大 沢 文 夫	4
半導体ヘテロ界面にある2次元電子の利用	工 学 部	井 上 正 崇 稲 山 実 犬 石 嘉 雄	9

低温中級シリーズ9

電子線照射用クライオスタット	教 養 部	福 岡 登	13
広範囲温度可変クライオスタット	理 学 部	水 貝 俊 治	15
索引 (No. 31 ~ 40)			17